

# 2014-7-4 豚 皮膚

鶏病理 藤木省志

提出機関 : Swedish University of Agricultural Sciences

患畜 : 子豚 (♂、1日齢)

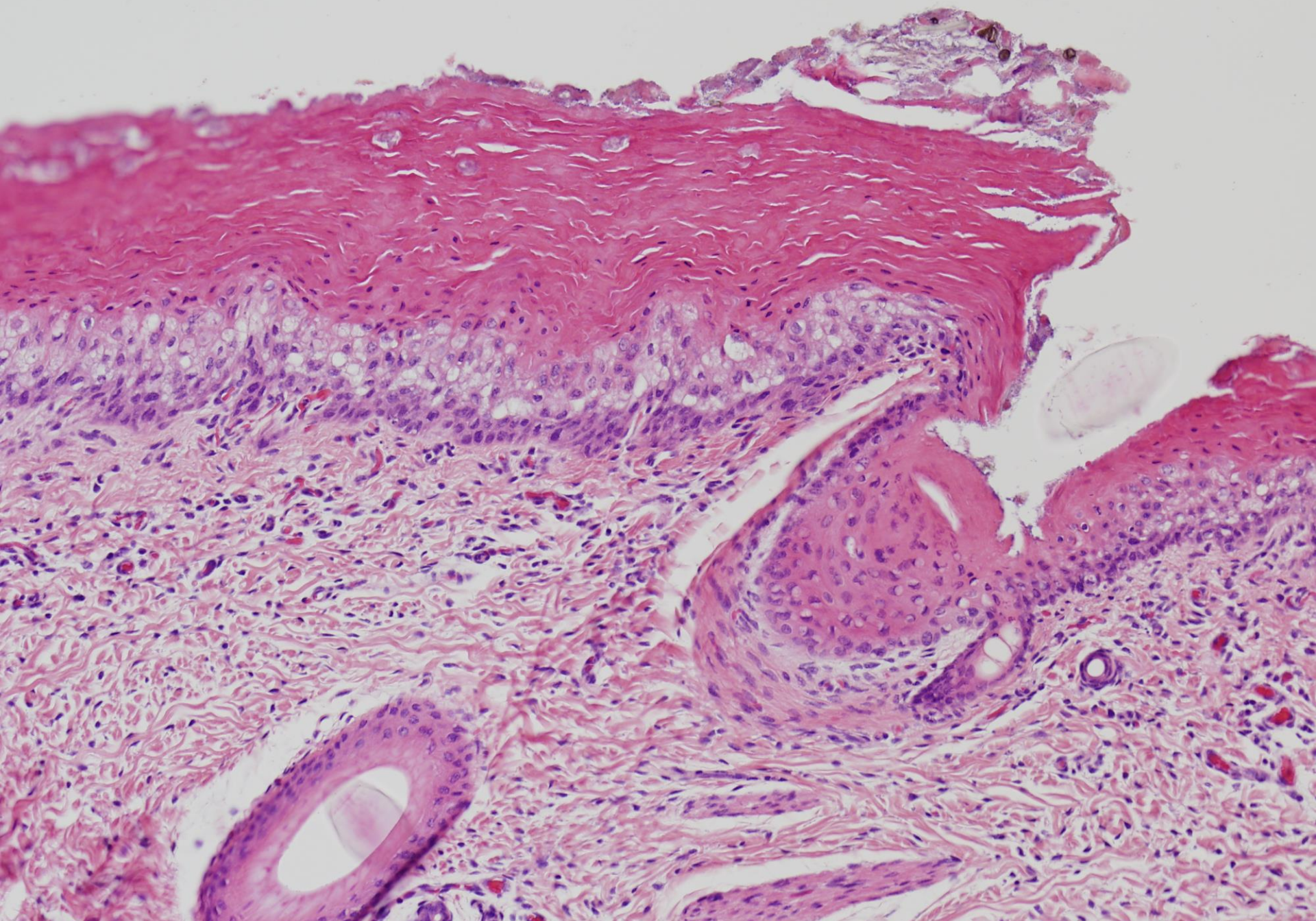
病歴 : 皮膚病変を伴って生まれ、1日後に死亡。  
同腹子は健康で皮膚病変は認められなかった。

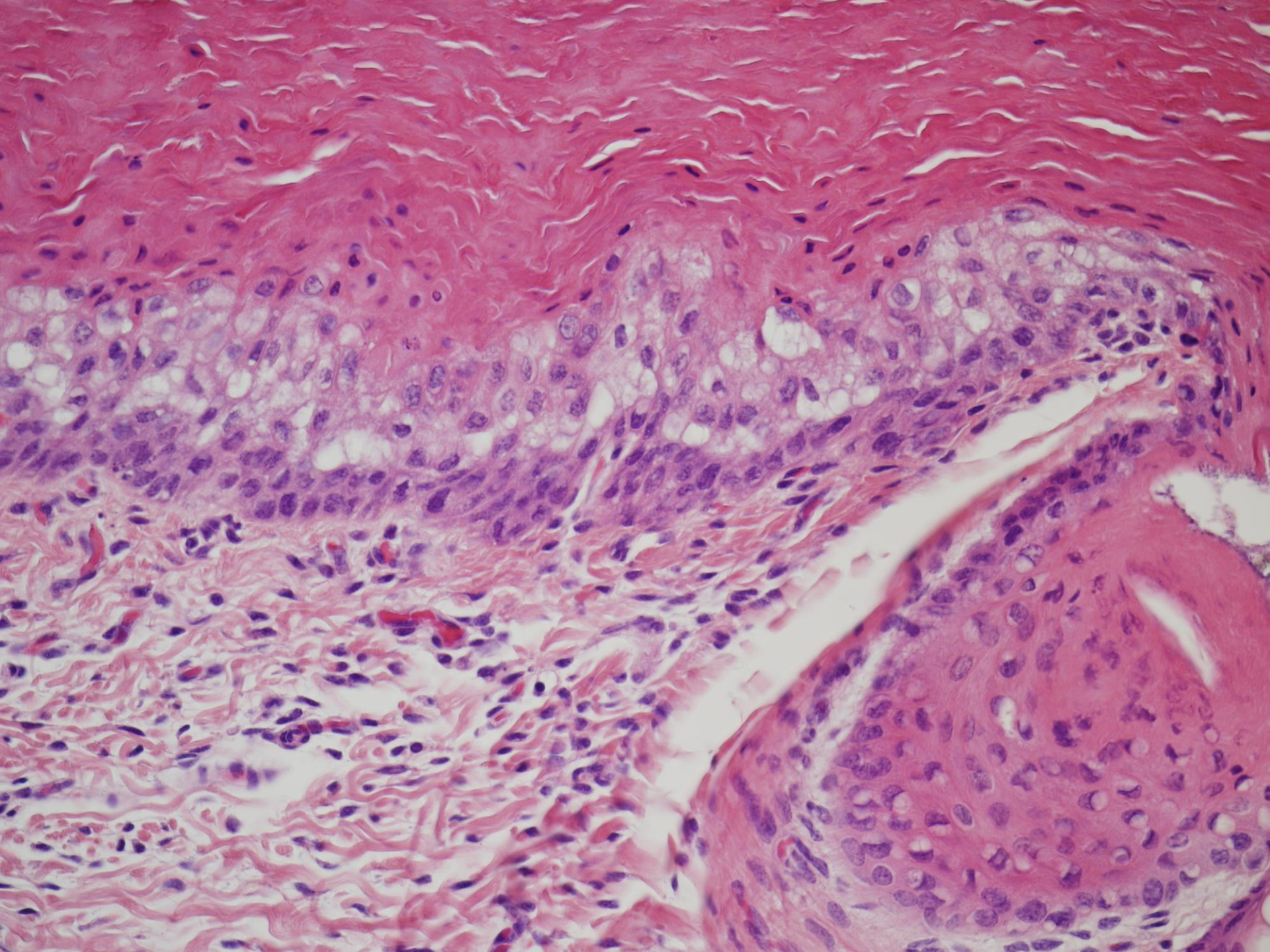
剖検所見 : 背部皮膚の乾燥、ひび割れ  
腹部、四肢、耳介及び鼻部では著しい角化亢進、水腫、ひび割れ。胃内にごくわずかな量の凝固した初乳。

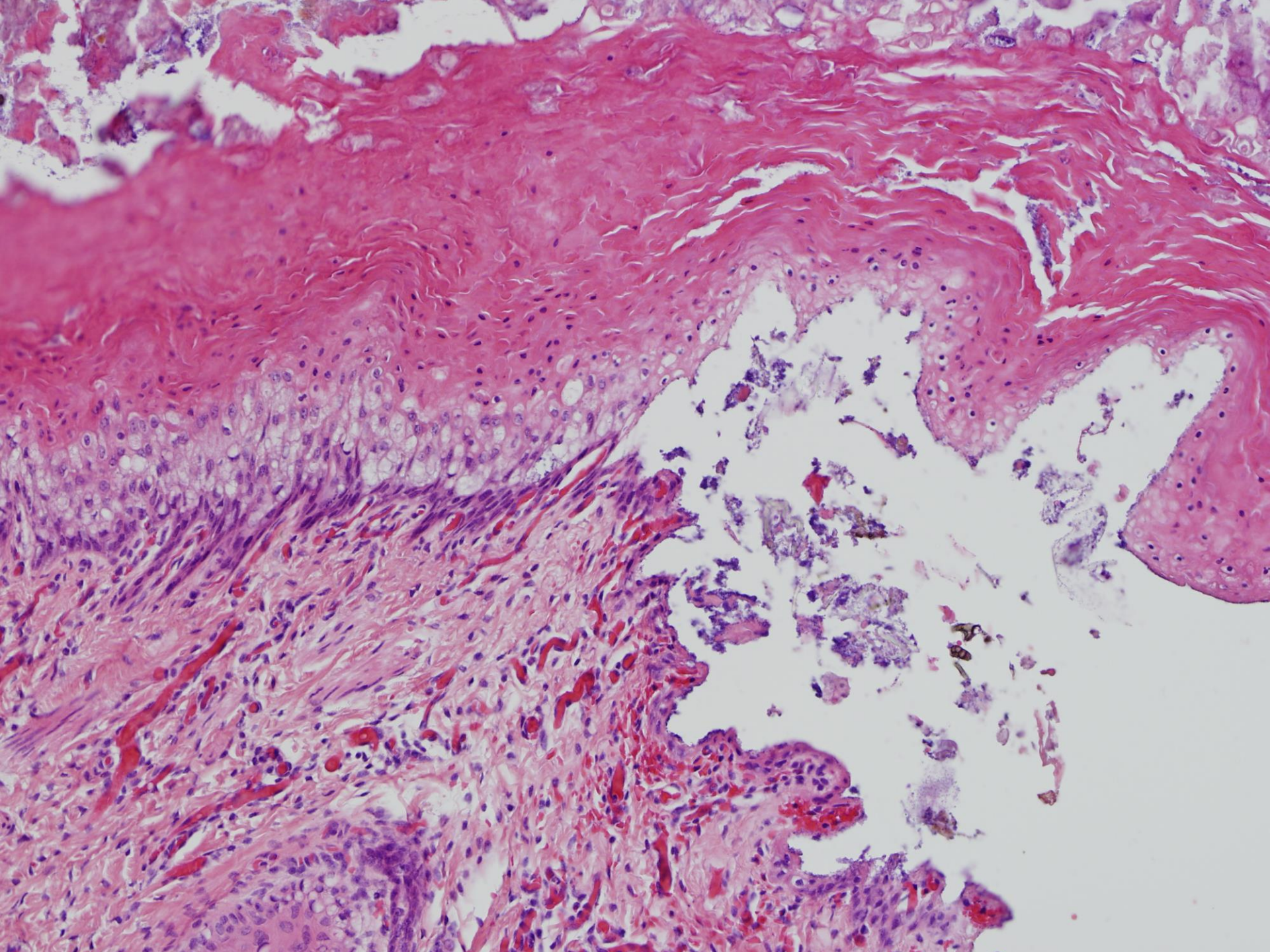
検査結果 : 実施なし











## 提出者の診断

有毛部皮膚：魚鱗癬に一致する、基底層直上の裂隙形成、有棘層及び顆粒層における角化細胞の空胞化並びに著しい正角化症及び錯角化症を伴った表皮過形成

Haired skin, epidermal hyperplasia with marked ortho- and parakeratosis, vacuolation of keratinocytes in stratum spinosum and stratum granulosum and suprabasilar clefting, consistent with ichthyosis.

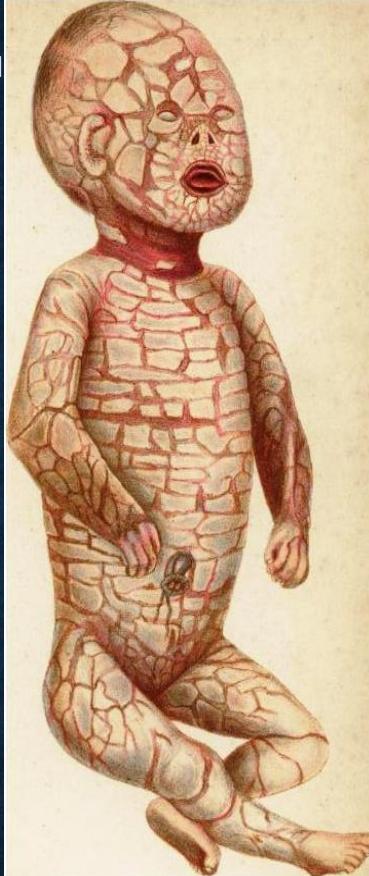
## JPCの診断

皮膚：表皮の肥厚及び海綿状浮腫を伴う著しいびまん性の錯角化性の層板状角化亢進症

Skin: Hyperkeratosis, lamellar, parakeratotic, diffuse, marked, with acanthosis and spongiosis.

# 魚鱗癬

図 道化師様魚鱗癬  
出典 「ウィキペディア」



- ・ 過角化症と鱗屑の蓄積によって特徴付けられるまれな先天性角化異常症。  
(型により顆粒層肥厚や角化細胞の空胞化及び微小水疱形成など)
- ・ 病態は、角質層での脂質の合成または分泌の異常。
- ・ 人で様々な型が存在(下表参照)。
- ・ 動物でも発生:牛、犬、豚、鶏、ネズミ、ラマ(常染色体劣性遺伝)。
- ・ 牛や犬では2タイプに分けられている(ヒトと完全に一致しない)  
牛:胎子魚鱗癬、先天性魚鱗癬  
キアニーナ牛(Chianina cow)でのTGM1  
犬:非表皮融解性魚鱗癬、表皮融解性魚鱗癬  
ゴールドンレトリバーのPNPLA1、ジャックラッセルテリアのTGM1  
アメリカンブルドッグでのICHTHYIN

	病名	変異遺伝子(遺伝性)
遅発性	尋常性魚鱗	フィラグリン(常染色体半優性)
	X連鎖性劣性魚鱗癬	ステロイドスルファターゼ(X連鎖性劣性)
先天性	道化師様魚鱗癬	ABCA12(常染色体劣性)
	葉状魚鱗癬	トランスグルタミナーゼ1(TGM1)、ICHTHYIN、ALOXB12、ABCA12など(劣性)
	先天性魚鱗癬様紅皮症	TGM1(完全欠損すると葉状魚鱗癬)、ABCA12、ALOXE3など(劣性)
	表皮融解性魚鱗癬	ケラチン1または10遺伝子(常染色体劣性)



## 提出者のコメント

- 本症例の病変は、正角化及び錯角化性の角化亢進症及び有棘層上部から顆粒層における角化細胞の空胞化。

- 表皮融解性魚鱗癬

類似：有棘層上部から顆粒層角化細胞の空胞化。

相違：本症齡では、顆粒層の著しい肥厚なし。水疱もなし。

- 尋常性魚鱗癬や先天性魚鱗癬

類似：正角化性の角化亢進及び顆粒層の減少or欠落。

相違：本症齡では、毛包に角化亢進を示さない。

- ただ「魚鱗癬」とすることが最良。

# JPCのコメント

## (類症鑑別)

- 亜鉛反応性皮膚症: ブタの角化亢進症を起こす別の病態
  - タリウム中毒: 多くの動物種に角化亢進
  - ビタミンA反応性皮膚症: 角化亢進症のコッカースパニエル
  - 表在性壊死性皮膚炎(犬及び人): 表皮層の水腫及び基底層の過形成を伴った錯角化(肝不全と続発する低アミノ酸血症に起因する肝皮症)
  - イヌモルビリウイルス(ジステンパー)
  - 落葉性天疱瘡
  - 先天性魚鱗癬
- 肉球の錯角化